

事務事業	15047	子ども会育成会連絡協議会活動支援事業	担当課 課長	社会教育課 前田憲一郎	担当係 担当者	社会教育係 岡部 圭悟
計後 画期 体計 系画	施策	07	子どもの権利を守り、安全で健やかに成長できる まちをつくる	会計	1	一般会計
		取り組み方針	250 子どもの健全育成を推進する	款	10	教育費
				項	5	社会教育費
				目	3	青少年育成対策費
			基本事業			
法令根拠条例等			個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 28年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 年度より開始 <input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度～ 年度			

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 子ども会育成会連絡協議会への活動支援。		<input type="checkbox"/>	2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる)
		主 な 事 業 費 の 内 訳	子ども会育成会連絡協議会活動事業費補助金 300 千円
			千円
			千円
			千円
【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 補助金交付、町子ども会育成会連絡協議会の行う主催事業に関する連絡調整、糟屋地区子ども会育成会連絡協議会等との連絡調整			

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

事務 事業 の 目 的	① 手段(主な活動) 28年度に行った主な活動(※箇条書きで記入) 子ども会育成会連絡協議会補助30万円	④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	指標数値				
	⇒	⇒	名称	単位	27年度	28年度	29年度
			ア 子ども会育成会連絡協議会補助額	千円	300	300	300 (見込)
			イ				(見込)
	⇒	⇒	ウ				(見込)
			⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)				
名称			単位	27年度	28年度	29年度	
⇒	⇒	ア 子ども会育成会連絡協議会加盟団体数	団体	24	24	24 (見込)	
		イ				(見込)	
		ウ				(見込)	
⇒	⇒	⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)					
		名称	単位	27年度	28年度	29年度	
		ア 子ども会育成会連絡協議会主催事業数	事業	目標 5	実績 5	5	
		イ 理事会開催数	回	目標	6	6	6
				実績	6	6	
		ウ		目標			
				実績			
		エ		目標			
				実績			
		オ		目標			
実績							

(2) 総事業費の推移

事 業 費	財源内訳(千円)		27年度 (決算値)	28年度 (当初予算)	28年度 (決算値)	29年度 (当初予算)	30年度 (計画)	31年度 (計画)	
	経 費	国・県支出金、地方債等							
		受益者負担等							
		一般財源	300	300	300	300			
		合計(A)	300	300	300	300	0	0	
		(内臨時・嘱託職員人件費)							
		正職員人件費[按分](B)	1,085	959	807	904			
	トータルコスト(A)+(B)	1,385	1,259	1,107	1,204	0	0		

事務事業評価表(事業実施年度:平成28年度)

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか?いつ頃どんな経緯で開始されましたか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか?	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか?(誰からの意見か明記)
昭和50年頃、各子ども会育成会が相互に協力して子ども会の育成を図ることを目的に組織された協議会に対し交付された。	平成21年度、補助金を4万円削減。平成22年度も2万円削減し30万円にしている。	特になし。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		28年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成28年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 目的の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	子ども会育成会連絡協議会の役員のなり手がいない。後継者の育成・発掘が必要である。また、野外体験活動事業が、26年度に廃止され、子どもの体験活動の場が減少しているため、新たな事業も考える必要がある。	<input type="checkbox"/> 記述どおり実施できた(コメント必要ありません) <input type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	実施できなかった理由と今後の方針 子ども会育成会連絡協議会の後継者の育成・発掘が必要である。

2 評価(SEE)及び全体総括の部*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価

	評価の理由
目的妥当性評価 ① 上位施策への貢献度は大きいですか?※総合計画を参照してください <input type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→) ② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか? (事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか?) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	補助金を交付することで、子ども会育成会活動が活性化されて仲間づくりができるため、子どもの心身が健やかに育ち、地域全体で子どもを育てる環境ができる。 町の将来を担う子どもたちの会への補助で、健全な青少年育成に役立っている。
有効性評価 ③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がある(理由→) <input type="checkbox"/> 成果向上余地がない(理由→)	野外体験活動事業が、26年度に廃止され、子どもの体験活動の場が減少しているため、新たな事業も考える必要がある。
評価 ④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	子ども会に対する唯一の事業であり、廃止は青少年健全育成の観点上望ましくない。
効率性評価 ⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか?(広域連携や民間委託等の導入など) <input type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input checked="" type="checkbox"/> ない(理由→)	現在、連絡協議会入会に関しては強制ではないが30町内会中、24町内会の子どもの会が入会している。6つの町内会は個々の事情により入会していない。今後も補助金を交付し、自主運営をしていただく。

(2) 28年度を振り返って(全体総括・反省点)

子ども会の在り方を考える必要がある。子ども会の活動の場としての事業も考える必要がある。

3 今後の方向性(29年度以降の計画と30年度予算への反映)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)	(2) 平成29年度以降に取り組む内容と期待される効果
<input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→ <input type="checkbox"/> 事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	子どもの体験活動の場が減少しているため、新たな事業も考える必要がある。